

# 《平成30年度 自己評価結果 公表シート》

学校法人長生学園 認定こども園 明幸幼稚園すまいる保育園

《評価段階 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない》

## 【幼稚園】

評価項目	内容	平均評価値	現在の課題と取り組み	
① 保育の 計画性	園の理念 教育要領 教育課程	●園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	3.5	環境構成 季節の変化を感じられる ような設定をしたり、子 どもたちが安全かつ清潔 に過ごせるように配慮し ている。  課題として 教育要領を理解し園の理 念や育ってほしい 10の姿と合わせて園内 研修等行い周知する。
		●教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や保育者と話し合う	3.2	
		●指導計画は、教育要領・教育課程そして幼児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	3.4	
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	3.5	
		●幼児が主体的に関わりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する	3.6	
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるよう環境を再構成する	3.6	
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	3.5	
評価・反省	●自己の保育についての評価・反省を様々な観点から行う	3.3		
	●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	3.6		
② 保育の在 り方 幼児の対 応	健康・安全	●日頃から園内の危険個所に配慮する	3.8	各クラス、ホールや園庭 など毎日危険箇所がない かチェックリストで確認 している。 また、事故や怪我など発 生した場合ヒヤリハット に記入し職員全員で周知 し対応している。  課題として 幼児の発達をふまえ見通 しを持って指導援助す る。
		●毎日の園児の健康視診を大切にする	3.8	
		●事故やケガが発生した場合は迅速に適切な処理を行う	3.6	
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.5	
		●幼児同士の関わりの姿から、個々の成長発達をふまえ、見通しを持って理解する	3.3	
	指導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.4	
●規範意識・道徳性を培ううえでモデルとなるよう心がける		3.3		
●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする		3.5		
③ 保育者の 資質・能 力	姿勢 能力 義務 組織	●ふさわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.8	園内での情報は職員間で 周知し、守秘義務を遂行 する。また、身だしなみ に気をつけ社会人として の常識をわきまえて行動 している。  課題として 保育者の感性や教養を深 めるという点で研修や職 員間の意見交換を活発に 行いたい。
		●職務上の情報等の秘密を守秘する	4	
		●社会人の常識をわきまえ、行動する	3.8	
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を持つ	3.6	
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	3.2	
		●当番や役割義務など、課せられた仕事は確実に実行	3.7	
		●保育者としての感性・教養を深める	3.6	

評価項目		内容	平均評価値	現在の課題と取り組み
④ 保護者への対応	対話・交流 クレーム対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	4	保護者からの意見や悩みなど柔軟に受け止めたり、職員全体で周知する。また、クレーム対応として園長に報告相談し職員全体で共通理解を図る。  課題として園全体として取り組んでいるが、報告相談が遅くならないように対応していく。
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.8	
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚を持った言動・行動を心がける	3.8	
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.8	
		●保護者からの話して、自分で判断出来ない場合は、園長・主幹等に報告、連絡、相談をする	3.6	
		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解の上で対処する	4	
⑤ 地域・自然・社会との かかわり	地域・自然・ 人とのかかわり	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	3	学校訪問や行事に興味を持ち参加できるものは参加したり、園の行事にも参加してもらっている。  課題としてもう少し地域の施設と関わる機会を作り共通理解したい。
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	3.8	
	小学校との連携	●小学校の教育内容について理解するよう努める	3.7	
		●地域の小学校行事や公開授業等に関心をもつ	3.9	
	子育て支援 地域への開放	●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	3.4	
		●子育て支援や地域開放について、教職員全体で取り組む	3.8	
⑥ 研修と研究	研修・研究への 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題を持って積極的に参加する	3.8	キャリアアップ研修など様々な研修に参加し、得た知識を職員間で共有する。また、研修で学んだことを保育でどう活かしていくか考える機会とったり、見通しを持った保育を実践できた。  課題として年々変化していく記録の取り方や計画の立て方などの実践と自分の理解できていない分野への研修、研究をする。
		●自分の保育について自己課題を持って研究を行う	3.4	
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主幹、園長に相談する	3.6	
	保育者としての 専門性に関する 研修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に活かす研修・研究を行う	3.7	
		●記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	3.5	
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	3.4	
		●実践に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	3.3	
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	3.4	
		●保護者への対応に関する研修・研究を行う	3.2	
		●地域社会との交流に関する研修・研究を行う	2.8	
	●組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	3		
	今日的課題に 関する 研修・研究	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理解する	4	
		●預かり保育や子育て支援について研修する	3.8	
		●幼小連携の必要性や具体的方法について研修する	3.5	
		●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について研修する	3.6	
		●社会情勢について関心を持ち、研修する	3.5	